

国見町は、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これを生かした「歴史まちづくり」を進めています。このコーナーでは町や地域が行う取り組みについて、毎月お伝えします。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】  
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



～郷土史研究会×国見町歴史まちづくりフォーラム～  
「塚野目 歴史と伝説の里めぐり～自然災害の記憶と継承～」

「国見町の自然災害の記憶と継承」をテーマに11月24日、塚野目地区の城跡や古墳跡などを歩いて巡る催しが行われ、町内外から約60名が参加しました。塚野目地区に残る「雨乞い」祈願は、『国見の民話』にも収録されている「おしのさん」などでも語り継がれている伝承です。

昭和59年夏に、雨が降らず深刻な干ばつに見舞われたときに、地域の神社から半田沼まで歩き、半田沼で雨乞い祈願を行いました。

この日は、塚野目集会所で当時の記録映像を見たり、当時雨乞い祈願に参加した人から話を聞いたりして、当時の人々の思いやたくましさ、社会状況について知ることができました。

その後には、五郎市神社や錦木塚古墳、塚野目城跡など、塚野目地区の文化財や史跡を歩いて巡った参加者たちは、古墳や城跡の遺構から、この地区でどのような暮らしが営まれていたかに思いを馳せました。

町内の参加者も、35年前の雨乞い祈願がどのように行われたかを知らない人が大多数で、「どんなことをしたのかが分かってよかった」「10月に国見町で発生した自然災害の記憶も、風化させることなく後世へ伝えていくことが大切だ」といった声が聞かれました。



解説を聞きながら映像を観賞 当時の参加者の話



雨乞いの前の晩にお籠りをした八幡神社 塚野目城跡の喰い違い土塁跡

『阿津賀志山防塁』  
国指定史跡範囲が拡大しました！

阿津賀志山防塁の下二重堀地区の一部が、国史跡に追加指定されました。これまで継続して行ってきた調査の成果をもとに、町が追加指定について意見具申し、これを受けて11月15日に国文化審議会が文部科学大臣に、国指定文化財に追加指定するよう答申をしました。追加部分は写真の赤枠で囲んだ751平方メートルです。(青枠:既指定範囲、黄枠:今後保護を要する範囲)

町では、町のシンボルである阿津賀志山防塁を、地域の誇りとして継承していくための取り組みを今後も進めていきます。



※今回追加指定された箇所は私有地です。立ち入りはご遠慮ください。

第5回鹿島神社例大祭  
フォトコンテスト作品を展示しています！

10月24日から26日にかけて行われた町指定無形民俗文化財「鹿島神社例大祭」。

神輿と山車の迫力あるこの祭礼の様子を撮影した写真のコンテストが開催されました。迫力あふれる一瞬を切り取った作品をぜひご覧ください。



最優秀賞『ワンチーム』松本俊一さん(福島市)

場所 国見町文化財センター「あつかし歴史館」(国見町大字大木戸字霞原3)

期間 1月31日(土)まで展示中  
午前9時から午後4時30分(月曜休館)

国見の輝き人 ～国見町で活躍する人を紹介～  
vol.1

イルミネーションは、平成17年にホームセンターで購入して1本の木に飾り付けしたのが始まりです。まだLEDも普及していない上に、イルミネーションを設置しているところもなく、家族からも反対されましたが孫が喜んでくれたため毎年少しずつ機材などを買い足し、今では家族全員で点灯式をするまでになりました。毎年続けていると近所の方からも「今年も楽しみだわ」と声をかけられ、一年ごとにデザインを変えたり試行錯誤するようになりました。

また、平成25年の町のイルミネーション表彰式で最初の「とってもすばらしいで賞」をいただいたことも励みになり、今でも町を明るくできればとの思いで飾り付けをしています。寒い屋外での作業は苦労もありますが、みんなの喜ぶ顔が見られるので毎年続けることができます。



第1回目は、『明日へ。ビッグツリー・イルミネーション』個人部門で「とってもすばらしいで賞」を受賞した安藤さんご夫婦にイルミネーションに対する思いなどについてお聞きしました。



安藤典夫さん 和子さん (山崎小館)

はっぴょうかい 「こおろぎとくつわむしのダンス」 「いもほりをしているところ」  
くにみ幼稚園 (年中組)

たけだ そうた さいと う こうたろう

「だんすをしているところ」 はっぴょうかい 「まつむしとこおろぎ」  
とくえ このは まくた さな

いさな天オたち